



設置された「止まれ標識」

事故多発の交差点に「止まれ標識」

国道への抜け道として交通量が増え、出合い頭の事故が多発していた旭川市末広2条14丁目の市道交差点に、一時停止の道路標識を設置しました。地元の東鷹栖9区町内会が市に安全対策を求めて設置に至らなかった状況を、公明党員の高城美恵子さんが中村徳幸市議に相談。中村市議と連携して警察署などの関係機関に働き掛け設置することができました。鈴木文男町内会長には「こんなに早く要望が実現した」と喜んでいただきました。

ごみポイ捨て禁止運動に参加

旭川市恒例のごみポイ捨て禁止運動に門間節子市議と参加、市民団体「新旭川サンサングループ」(柳田文雄代表)のメンバーと共に旭川駅前から旭川市民文化会館前まで街頭啓発とごみ拾いを行いました。落ち葉以外、ごみはほとんど見当たらず市民意識の高さを感じました。



ごみポイ捨て禁止運動の参加者



ハワイへ輸出される道産米の前で

ハワイへ道産米 たいせつ農協を視察

2016年から米国・ハワイに道産米を輸出する事業を開始し“攻める農業”で新たな販路拡大を目指している旭川市のたいせつ農業協同組合(柿林孝志組合長)を旭川市議会公明党(室井安雄会長)と共に視察しました。同農協は札幌市の商社ワッカジャパンと提携して香港や台湾、シンガポールと輸出拡大を図り、16年は苫小牧港からの船便で15年度産米をハワイの和食料理店などに発送しています。北海道は食と観光が地域経済の柱。こうした取り組みを全力で支援していきます。

胃がん撲滅へ健康セミナー

胃がんの主な原因になっているピロリ菌の検査や除菌治療について国立病院機構函館病院の間部克裕・消化器科部長を講師に招いた健康セミナーを旭川市内で開催しました。間部氏は「胃がんは予防できるがん」と強調、負担の少ない中学生や高校生の時期にピロリ菌検査や治療が受けられる環境づくりの大切さを訴えました。セミナーには上川管内の首長も参加しており公費助成事業の拡大へ弾みがつきました。

間部医師を囲む
健康セミナーの関係者

プロフィール

1960年十勝管内本別町生まれ。北海道新聞社に入社し旭川支社報道部記者、岩内支局長、文化部次長、東京メディア委員などを経て編集局編集委員で退社。2011年4月に公明党から北海道議会議員初当選。道議会では経済委員会理事、

産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会理事、建設委員会理事、少子・高齢社会対策特別委員会理事を経て、15年5月から総合政策委員会理事、食と観光対策特別委員会理事。公明党では15年6月から党道本部副幹事長、政策局事務局長、旭川総支部長を兼任。